

平成18年度病害虫発生予察指導情報

対象作物：らっきょう

対象病害：灰色かび病、白色疫病

平成18年4月4日

鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

3月下旬現在、白色疫病、灰色かび病とも発生が多くなっており、白色疫病と灰色かび病が複合して発生している株も散見されます。今後、灰色かび病の発生が増加することが懸念されるため、防除を徹底しましょう。

2 情報の根拠

- (1) 3月30日の巡回調査の結果、白色疫病および灰色かび病の発病ほ場、発病株率ともに平年と比べて多くなっている。(表1、表2)
- (2) 白色疫病は低温多湿条件で発生が多くなるため、今後、発生が増加する恐れは少ないと考えられる。
- (3) 灰色かび病は4月に気温が高く5月に低温多雨の条件で発生が多くなる。気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されており、今後、引き続き多い発生が見込まれる。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 4月上旬にフロンサイド水和剤2,000倍液を株元にも薬液が十分にかかるように散布する。窒素肥料の過多等によって茎葉が過繁茂となったほ場では、特に丁寧に散布する。
- (2) 降雨後には、枯れた葉上に多数の分生胞子を形成するので、降雨後の防除を徹底する。

表1 らっきょうほ場における白色疫病的発生状況

調査地点	ほ場数	3月24日調査		3月30日調査	
		発生ほ場数	発生株率(%)	発生ほ場数	発生株率(%)
福部町	5(ラクダ系)	3	0.5(0.6)	4	4.3(1.3)
北栄町	5(ラクダ系)	0	0.0(0.1)	1	0.1(0.8)
合計	10	3	0.2(0.3)	5	2.2(1.1)

発生株率の()内は平年値

表2 らっきょうほ場における灰色かび病的発生状況

調査地点	ほ場数	3月24日調査		3月30日調査	
		発生ほ場数	発生株率(%)	発生ほ場数	発生株率(%)
福部町	5(ラクダ系)	5	3.2(0.1)	5	4.6(1.7)
北栄町	5(ラクダ系)	5	2.3(0.1)	5	2.5(0.6)
合計	10	10	2.8(0.1)	10	3.6(1.3)

発生株率の()内は平年値